発行　所沢市青少年育成推進員協議会

NO.１９　令和４年4月１日

かけはし

編　集
（広報委員会）
赤池、渡辺、菊川、原口、藤巻、佐藤、久保
事務局
所沢市こども未来部
青少年課
TEL　2998-9103

ケアをしている子どもたちがいます

ヤングケアラーを知っていますか？

ヤングケアラーとは、家族など身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話、その他の援助を提供する18歳未満の者（埼玉県ケアラー支援条例）を指します。

県内の高校2年生を対象に行われた調査では、約25人中1人にあたる、1969人が家族らの介護や世話をするヤングケアラーであることが分かりました。

家族へのケアを始めた時期は中学生が34・9％と最も多く、次いで小学4～6年生頃が20・1％、高校生になってからが19・5％、小学1～3年生頃が12・1％の順で、小学校に入る前からという回答も7・5％ありました。

ケアを始めた理由としては親の病気、家族の障害に対して介助や見守りが必要になった、祖父母の認知症や高齢による衰弱のため介護や世話、見守りが必要になった、という回答がありました。

ケアには、家事全般、感情面のケア（そばにいる・元気づける・話しかける・見守るなど）、家計支援（アルバイトなど）、医療関連の手助けと多岐にわたり、医療的ケアなど負担の重い例もありました。

ケアの頻度は毎日が35・3％と最多で、週4～5日も15・8％に上りました。

平日1日あたりの世話に費やす時間については、3時間未満という回答が多いですが7時間以上という回答も1割程度ありました。

学校生活への影響について勉強時間が十分にとれないという回答がある反面、自分はあまり手伝えないのが申し訳ないと感じているという回答もありました。

今後、高齢化社会が進み、親世代は家計のために働き、子世代である若者に介護などの負担がかかってくることが懸念されます。

ヤングケアラーへの支援として、今まさに、支援体制を強化していく必要があると思います。

一人で抱え込まないで

家族の問題だから、家族だから当たり前。可愛がってもらった祖父母のことだから大丈夫と思うでしょう。

家族で助け合うこと、お手伝いすることはとても尊いことです。でも、負担が軽減できるとしたらどうでしょう？

一人で抱え込まないで、まずは相談して欲しいです。

学校では、スクールソーシャルワーカーに相談すれば、支援できる機関につなげてくれるでしょう。

話を聞いてもらうだけでも心のケアになるのではないでしょうか？

学校には知られたくないと思う人は、市町村の相談窓口や、電話・ＳＮＳ相談の利用も考えてみましょう。

一人一人、様々な支援の形があるので、まずは相談して心と身体的な負担を軽減しましょう。

悩んだ時の相談先

●子どもスマイルネット
048－822－7007

●児童相談所
相談専用ダイヤル
0120－189－783

●よい子の電話教育相談
#7300　または
0120－86－3192

●所沢市こども相談センター
soudan@spec.ed.jp
04－2998－9129

（菊川）

地区だより ～小手指地区～

毎年、全国で登下校中の児童が巻き込まれる交通事故が発生しています。

小手指地区では、所沢市役所や所沢警察署と連携して、児童が安心して登下校ができるように見守り活動を実施しています。

通学路脇にハチの巣ができた時は、市役所生活環境課へ相談しました。スクールゾーン標示等の書き換えについては市役所道路維持課へ、横断歩道・一時停止線の書き換えについては所沢警察署交通部へ依頼しました。スクールゾーンの普及啓発については、市役所防犯交通安全課へ相談しました。

依頼・相談内容により担当部局が異なるので注意が必要だと感じました。

▲標示の薄くなった道路

◀標示の書き換えをした道路（片居木）

令和3年度活動アピール

●「家庭の日」推進事業 青少年-明日へのメッセージ 優秀作文表彰式に協力

毎年、所沢市と青少年育成所沢市民会議の共催で、「家庭の日」推進事業〈青少年―明日へのメッセージ〉作文の募集を行っています。今年度は、小学生175点、中学生360点、計535点の応募がありました。

当協議会では、3月6日(日)新所沢まちづくりセンターにて行われた、優秀作文表彰式の運営に協力しました。

▲表彰式の様子

◆パトロール研修 ～日本ガーディアン・エンジェルス所沢支部～

7月3日から7月17日の各土曜日に、日本ガーディアン・エンジェルス所沢支部のご協力を受け、パトロール研修会を行いました。

所沢駅を出発して、長者久保公園、プロペ通りを巡回し、パトロール時の留意点や青少年との接し方のコツについて、実践的な内容を学びました。

毎週、青少年の見守り活動を行うガーディアン・エンジェルス。継続してきた意義を強く感じました。

◀研修中の様子(7月3日)

◆全体研修会「ケアラー支援のために」

1月17日(月)、当協議会主催の全体研修会を開催しました。

埼玉県地域包括ケア課の方をお招きし、県政出前講座「ケアラー支援のために」を受講しました。

■新小学1年生に花の種配布

明るく楽しい家庭づくりのため、「家庭の日」推進事業の一環として、小学校新一年生へ記念品を配布しました。

ぜひご家庭で一緒に育ててくださいね。(青少年育成所沢市民会議との共催)

◆ジュニア推進員へ活躍の場を！

当協議会では、青少年の健全育成活動に協力してくれる中学生、「ジュニア推進員」を募集しています。

今年度は、16名の登録がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で各種事業が中止・規模縮小となり、活動の場を提供できませんでした。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、様々な活動が再開できることを祈ります。

HP ではカラー版を
ご覧いただけます♪

本の紹介

『おかあちゃんがつくったる』
長谷川義史／作・講談社

お父ちゃんが亡くなってから、ぼくはお母ちゃんとお姉ちゃんと仲良く暮らしている。

おかあちゃんはミシンの仕事をしていて、いろいろ作ってくれる。けれど、いつもちょっとちがう。

ある日、父親参観のお知らせを持って帰ると、心にもないことを言ってしまった。「何でも作れるんならおとうちゃん作ってえな。」さて、参観日はどうなるのか？　（菊川）

編集後記

新しい生活様式も定着してきました。気をゆるめず、新しいチャレンジもしつつ過ごしたいですね。（久保）